

田仲つねお 市政レポート

(田仲常郎)

「大きな夢の挑戦者」「小さな声の代弁者」

H30年4月号

縁にありがとう
出会うと感謝



TANAKA TSUNEO

PROFILE

昭和41年3月20日生まれ(52歳)
緑ヶ丘第二幼稚園 則松小学校
昭和56年3月則松中学校卒業
昭和59年3月東海大学附属第五高等学校卒業
平成26年3月北九州市立大学地域創生学群
地域創生学類卒業

平成21年1月に市議会議員に初当選。
総務財政委員会 委員
環境建設委員会 委員
平成25年1月に2期目市議会議員に当選。
総務財政委員会・委員長
環境建設委員会 委員
平成29年1月に3期目市議会議員に当選。
環境水道委員会 委員

現在に至る
＜社会活動&現在の役職＞
NPO則松金山川コスモス会 理事長
北九州市花咲く街かどづくり推進協議会副会長
八幡西区花咲く街かどづくり推進協議会会長
北九州なぎなた連盟会長
八幡西区柔道連盟理事
日本おもと協会東筑支部 相談役
保護司
学校法人緑ヶ丘学園評議員

<http://ameblo.jp/tanaka-tsuneo/>
<http://www.facebook.com/tsuneo.tanaka.161>

市政レポート発行にあたり

初春の候、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃からひとかたならぬご高配をいただき、心より感謝いたしてします。このたび北九州市議会二月定例会で一般質問をいたしました。議会報告として市政レポート平成三十年四月号を創刊いたしましたので、お目通しいただきましたら幸いです。

平成30年2月議会報告

■平成30年度予算について

1. 全会計の予算規模について

平成30年度の一般会計は、国民健康保険の財政運営の県単位化等がある一方、若戸大橋・若戸トンネルの無料化や難病に関する医療費支給の権限移譲などにより、予算規模は微増となっています。

一般会計：5,630億 100万円
特別会計：4,019億9,300万円
企業会計：2,407億3,900万円
合計：1兆2,057億3,300万円

2. 予算の概要について

平成30年度予算は、『豊かな未来に向け、GO!GO!北九州市躍進予算』と名づけ、4つの柱からなる予算を編成しています。

①『にぎわいを創出し、新しいひとの流れをつくる』

2020年の「東アジア文化都市」の誘致や、市制55周年を記念した賑わいの創出を図るとともに、女性や若者、アクティブシニアを含めた本市への定住・移住の促進を積極的に推進します。

文化を活かした賑わいの創出では、小学3年生を対象とした美術鑑賞プログラムの本格実施や、日中韓新人MANGA選手権の開催、松本清張記念館開館20周年事業などを実施します。
また、スポーツによる賑わいの創出では、ラグビー・ウェールズ代表チームによる市民交流プログラムの実施や、卓球の国内最高峰の国際大会「卓球ジャパンオープン」荻村杯北九州大会等の開催事業を行います。また観光の面では、小倉城天守閣の展示リニューアルや城内広場整備、回遊ルートのライトアップを進めます。さらに、門司港エリアでは、日常的なライトアップや関門海峡ミュージアムの展示

リニューアルを行います。また、「TGC北九州」の開催や下水道100周年記念事業の実施などを通じて、本市の魅力在全国に発信します。

定住・移住の促進に向けては、市内企業へ就職する新卒者等の奨学金返還支援や市内大学へ地元就職促進のためのアドバイザー派遣などを開催します。さらに、平成30年内の若戸大橋・若戸トンネル無料化関連イベントを実施します。

②『魅力あるしごとを創出し、活力あるまちをつくる』

国家戦略特区関連では、介護ロボット産業の集積化を図るための開発・導入実証を推進します。環境・エネルギー政策の推進では、SDGs達成に向けた取組みを着実に進めるとともに、響灘地区における風力発電関連産業の総合拠点の形成に向けた取り組みや、平尾台や曾根干潟における保全と活用を通じたエコツーリズムを推進します。北九州空港の活用については、福岡県との緊密な連携のもと、新規の路線誘致や路線定着のための事業、貨物拠点化の実現に向けた取り組み等を行います。

一方、力強い産業づくりでは、中小企業の成長加速化に向けた販路開拓支援を実施するとともに、IT企業の誘致に向けた人材供給ネットワークの構築などに取り組みます。さらに、国道3号黒崎バイパスなど主要路線の整備を進めるとともに、折尾地区総合整備事業を着実に進めます。

③『安心して子どもを産み育てることのできるまちをつくる』

小規模保育や民間保育所の整備推進をはじめ、認定こども園へ移行する私立幼稚園等に対する施設整備費用助成など、入所定員483人分(予定)の拡大に着手します。また、配置基準を超える保育士雇用に必要な人件費一部補助や、放課後児童クラブの夏休み等の利用希望児童の受け入れを実施します。

さらに、小学校教員の授業力向上に向け、英語に堪能な日本人指導助手を配置するほか、中学校区と特別支援学校に配置する学校図書館職員等の一層の充実を図るとともに、中央図書館内に子ども図書館を整備し、子どもの読書活動を推進します。また、特別支援学校スクールバス運行体制の整備

④『誰もが安心して暮らせるまちをつくる』

福祉・医療の充実に向けては、企業や保険者団体等と連携し、がん生活習慣病の予防に取り組みとともに、保育所や子ども食堂等において、子どものむし歯予防普及活動を推進します。また、難病相談支援センターの運営や総合療育センターの再整備、八幡病院の移転改築などを推進します。安全・安心の推進については、高齢者の運転免許証自主返納支援や、空き家対策の一環としてのリフォーム工事一部補助、また特定外来生物「ヒアリ」対策を行います。さらに通学路の安全対策や豪雨対策、上下水道の震災対策拡充・強化や、橋梁・トンネル等の長寿命化対策などを推進します。

また、大規模災害時に必要となる避難所の生活必需品の備蓄を進めるとともに消火力の強化に向け、救急ワックステーションを新八幡病院の敷地内に移転新築するほか、門司・八幡西消防署、島郷・楠橋分署の移転や建替を推進します。

3. 平成29年度2月補正予算について

一般会計で137億700万円の増額、特別会計で37億4,400万円の増額、企業会計で7億5,000万円増額、合計182億100万円の増額を行い、補正後の予算規模は、全会計で1兆2,849億8,400万円となります。

一般会計補正予算については、国の補正予算に対応し、学校施設の大規模改修や外壁改修、エアコン整備に要する経費などです。特別会計補正予算のうち、国民健康保険特別会計は、平成28年度の療養給付費等負担金などの確定に伴い超過交付の返還に要する経費を計上しています。競輪、競艇特別会計については、競艇事業の受託事業収入の増などが見込まれるため、増額補正等を行います。企業会計補正予算のうち、下水道事業会計については、国の補正予算に対応し、浸水対策に要する経費を計上しています。

即実行 つねおが行く!



ブログ更新中!!

即実行の実績の一部を記載しています。

<http://ameblo.jp/tanaka-tsuneo/>

八幡西区泉ヶ浦

八幡西区泉ヶ浦3丁目にある歩道の舗装は、キメが荒く凹凸もあるため掃除がやり難く、高齢者の方はつまずくとのことで、昨年6月に地域の方から改修の要望を承っておりまして。今は下記写真の様にきれいに改修され、つまずきもなくなり近隣の方も掃除がやりやすくなったことと思います。



八幡西区光貞台

八幡西区光貞台の小学校横の歩道は石畳みが敷かれていますが、自治会長をはじめ住人からは「凸凹で踏く、草が生えてる」とのことで改善要望をいただきました。下記画像の様に溝蓋をして歩道の改修をしています。今年度中は半分まで改修を行い次年度4月以降に残りを改修する予定です。



八幡西柔剣道場

八幡西柔剣道場1階部分の電灯がLEDに変わります。昨年度末に2階部分を先行してLED電灯に変えました。今年度中には1階部分も、とのことでしたが、末も末、今年度末になってしまいました。変更されて道場内も鮮明に明るくなり生まれ変わりました。



八幡西区則松

昨年9月、八幡西区則松にある樹齢五十年の桜の大き木に、オオスズメバチが巣を作っていたため駆除してもらいましたが、翌10月中旬にはまた新しい巣を作っていました。この木は既に朽ちて幹が空洞化しているうえ、桜の木の前の道は近隣の保育園児の散歩道になっていたため、急きよ自治区会の会長をはじめ町内会長の署名入りの嘆願書を作り、行政にお願いして伐採してもらいました。



八幡西区浅川学園台

浅川中学校北側の自然斜面に、竹や木が生えて斜面下の家屋の雨どいを詰まらせたり落石があったりすること、数年前に伐採などの対応をしていただきましたが、この度、右写真のように、法面工事をして対応しております。



下上津役元町地区

下上津役元町地区に新たに開発された住宅地内の生活道路が急勾配の為、安全対策を施してほしいと住人の方より要望をいただきました。早速行動し、今年の1月6日に片側だけになりますが手すりを整備していただきました。整備後の1月10日から3日間続いた積雪の際も安心であったと住人の方は喜んでおられました。



八幡西区則松

八幡西区松寿山から則松地区へ向かう生活道路には防犯灯がついていますが、暗くて危ないとの声を以前から聞いていました。この道路は、車の往来はあるのですが、右側が壁、左側が池のため大変危険です。このたび市より、一番暗い箇所に防犯灯より明るめの街灯が設置されました。散歩される方も多いので喜ばれると思っています。



朝倉市へ災害復興支援

北九州市議会議員の有志などが集まって九州北部豪雨災害の復興支援に行きました。自民党からは井上議長と私の2人、公明党から5人、共産党から4人、市民の皆さん19人の計30人が朝7時30分に議会棟に集合し、朝倉市へ向かいました。現地では苺ビニールハウスの草取りから始めました。中はサウナ状態でしたが、ホコリっぽいのでマスクをして草取りを行い、その後は土砂出し作業。流れ込んでいた土砂は陶器の様に固まり、カラカラに乾いていたため、砂埃の中での作業となりました。



八幡西区則松

則松金山川遊歩道の一部、距離にすると100mくらいですが、ブロック舗装で凹凸もあったため、ゴムチップ舗装を延長して頂きました。2月より改修工事が始まり、先日、下記写真の様に完了しています。自然に優しく温暖化対策に配慮したゴムチップ舗装は膝にも優しく、直射日光も吸収する工法を採用しています。



本会議で質疑しました!

今議会の本会議において、一般質疑を行いました。テーマは、「小倉城での花見のマナー」「市内キャンプ場の整備」「瀬川の森公園の利用促進」についてです。

中でも、小倉城での花見については、公園内ではあるものの、市は春の風物詩ということでパーベキュー等の火気使用についてこれまで寛大な対応をしてきましたが、近年、ゴミや場所取りのマナーが酷く、何とかすべきと考えていました。特に、最近海外からの観光客も急増し、大半が小倉城を訪れています。初めての日本のお城を見た時に、一面ブルーシートでゴミだらけ、煙モクモクの光景ではあります。もちろん全てをやめてしまうというのではなく、ルールをしっかりと決めた方がいい、小倉城が見本とならなければ、八幡西区や市内全体の桜のある公園にも影響があると考えます。市長からは「昨年の花見

期間中、小倉城の来訪者にパーベキューに関するアンケート調査を行ったところ、全面禁止すべきは約1割、場所限定すべきは約5割、現状のままが良いが約4割だった。煙や臭いが迷惑、ゴミが放置され散乱している等の意見があった。そこで、それらを踏まえ、今年度は火気使用が可能なエリアを南側に限定し、巡視員を配置、花見ルールの看板を増設するなど、花見客のマナーの啓発に取り組む旨の回答がありました。春の風物詩であるお花見はみんなが楽しめるようこれからも努力していきます。

